

令和3年6月9日

保護者様

横浜市立大口台小学校

校長 平原 智美

## 新型コロナウイルス感染症拡大防止と熱中症の取組について

感染拡大防止の観点により、先日の学校便りでのお知らせに加え、可能な限りの感染防止対策を講じ、今後も学校生活を進めていきたいと思っております。なお今年度、履修できない学習内容は、中学校への接続の部分も考慮し、次年度に計画的に工夫しながら行います。

### 今回のお知らせ

- ◆ 今年度の水泳学習を全学年中止します。

**理由** 本校の場合、最大35名の入場となる。この場合、プールサイドでの間隔は2mを確保することが難しい。担任1名・級外2名で対応。級外2名は、児童支援専任、音楽専科、家庭科専科で分担。すべて実施できたとして、級外教員1名当たり平均14回の授業指導にかかわることになる。なお、この期間中、児童支援専任の支援業務などの本来業務に携われない状況となる。

- ◆ 新体力テストは実施可能な種目のみ行います。

- ・ 50m走、ソフトボール投げは全学年実施。反復横跳び、長座体前屈、握力、立ち幅跳びは感染症対策を講じ、学年の発達段階を考慮して実施。シャトルラン(持久走)は、熱中症の心配があるため、全学年延期。

### 体育の学習における熱中症対策とマスクの着用について

現在、新型コロナウイルス感染症防止対策として、学校生活ではマスク着用を基本としていますが、熱中症等の健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合には、マスクを外してもよいです。

また、マスクを外す場合には、できるだけ身体的距離を保つ、近距離での会話を控えるようにするなどの配慮をすることが望ましいですが、熱中症も命に関わる危険があることを踏まえ、熱中症への対応を優先します。

#### 配慮事項

- 児童の体調には十分配慮し、体調がすぐれない場合は運動を控えるようにする。
- 息苦しさを感じた時は、人から離れて(2m以上)マスクをとって休憩をする。また、具合が悪くなったときは、すぐに休むようにする。
- 体育の学習中は、水分補給や日陰での休憩を取るが、水分補給は適宜必要に応じて行う。体育の学習には水筒を持って移動し、水分補給ができるようにする。
- 運動を行っていない際は、可能な限りマスクを着用する。また、呼気が激しくならない軽度な運動の際は、マスクを着用する。特に、呼気が激しくなる運動を行う際や、気温・湿度や暑さ指数(WBGT)が高い日には、十分な感染症対策を講じた上で、マスクを外してもよい。

(授業の前後における着替えや移動の際や、授業中、教員による指導内容の説明やグループでの話し合いの場面、用具の準備や後片付けの時など、児童生徒が運動を行っていない際は、可能な限りマスクを着用する。)